

罾などの狩猟グッズの数々。
 昨年は23頭を捕獲！
 今年は30頭を目指します！

十市出張所管内より



田んぼを柵で囲うなどの対策を講じています。
 「親身になってくれた市役所やJAには感謝している」と和彦さん。
 被害を受けたことで対策の必要性を感じ、地域住民への啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

地域を守るハンター

きたむら かずひこ
 北村 和彦さん(52)

南国市十市で水稻を栽培している兼業農家の北村和彦さんは、4年前に父親から栽培を引き継ぎ、4ヘクタールでコシヒカリを栽培しています。1作目の反省を生かし次に臨もうと意気込む矢先、イノシシ被害に遭い狩猟免許の取得を決意。「実態を知ること、地域のためになると思った」と振り返ります。

免許取得後は、師匠と呼ぶ地元の実験ハンターにノウハウを学びながら、イノシシの生態や特性を把握。罾を設置して捕獲・駆除を行う他、農作物への被害を防ぐために

みんなの笑顔を楽しみに

たくち まき
 田口 真紀さん(61)

勤続43年、仕事と家庭を両立し、60の手習いで始めた趣味の消しゴムはんこづくりや、以前から好きだったお菓子作りを楽しんでいる田口真紀さん。消しゴムはんこは、教室や本を見て基本を学び応用。凝り性で妥協しない性格も相まって、納得いくものができるまで微調整を繰り返すなど、細部までこだわって完成を迎えます。

出来上がったはんこは、ちょっとした贈り物に添える手紙にワンポイントで押ししたり、写真のようなトートバッグに押し活用するなど、

岡豊出張所管内より



消しゴムはんこを活用した作品。
 送って楽しい、貰って嬉しい
 唯一無二のオリジナルです♪

アイデア次第で楽しみ方もさまざま。送った相手の喜ぶ顔がモチベーションにもつながっています。

「何事にも欲を出さないことがモットー」と真紀さん。相手を思いやる気持ちや配慮を大切に、自分らしく楽しんでいます。

土長 地区から こんにちは

本山出張所管内より



元気にすくすく育てね!

つつい はるな
 筒井 春陽ちゃん(5)
 れんと
 蓮翔くん(1)

“太陽のように明るく、春の日差しのように困っている人に手を差し伸べてあげられる人になってほしい”と願い、名付けた春陽ちゃんは、誰とでも仲良くなれる優しいお姉ちゃん。絵本が好きで、図書館で選んだ絵本の読み聞かせなど、親子水入らずの時間も大切にしています。

ハイハイやつかまり立ちができるようになり、興味の幅が広がってきた弟の蓮翔くん。名前には、“目標に向かって諦めず挑戦し、優しい心で周りを幸せにできる人になってほしい”という願いが込められています。探求心旺盛で、ハイハイ鬼ごっこがお気に入り♪ お父さんに見守られながら春陽ちゃんやお母さんを追いかけて遊んでいます。ご両親は2人の健やかな成長を願い、温かく見守っています。

非日常を味わってみませんか?

いしだ まさき
 石田 真幸さん(53)

大豊町にある『星の山荘 梶ヶ森』に勤めている石田真幸さん。奥さんだけの希望で徳島県に移住し、昨年の4月から住み込みで働いています。

県立自然公園の敷地内にあり、大自然を堪能できると人気の施設。標高約1400メートルの山頂まで車で登れるところも魅力の一つです♪

「星の山荘 梶ヶ森のオンリーワンは、スタッフの接客」と真幸さん。近年は外国人観光客も多くなったそうで、さまざまなツールを活用しながら積極的にコミュニケーションを図り“お客様ファースト”を心掛けています。

併設する天文台では四季折々の星空を間近で楽しめる他、運が良ければ幻想的な雲海が見られるかも!? レストランで味わえる銀不老豆のロールケーキと自家製クラフトコーラがオススメです。

おおとよ支所管内より



山頂からの景色は圧巻！
 季節ごとに違う自然の表情を
 味わえます。

建物内部をリニューアルし、
 木のぬくもりを感じられる
 空間に

※施設は、12月中旬から
 3月中旬までは休み

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



日頃の飼養管理技術を競い合った嶺北畜産能力共進会

1 れいほく地域 秋山さんV 嶺北畜産能力共進会



嶺北畜産協会、JA高知県、土佐町略農業協同組合などは11月11日、土佐町で嶺北畜産能力共進会を開き、グラウンドチャンピオンに本山町の秋山陽彦さんが飼育する「第29たつみ」が輝きました。同共進会は、飼育管理技術の向上や家畜の改良発展に寄与することが目的。育成の部など全4部門に44頭が出品され、日頃の飼養管理技術を競い合いました。審査委員長を務めた県中央畜産保健衛生所の安藤正視所長は「概ね良好な牛が揃っていた。今後も地域全体で優良子牛の生産と保留に努めてほしい」と講評。秋山さんは、「日頃から気にかけて管理してきたことが評価されて嬉しい。今後

もれいほく地域の畜産振興に尽力していきたい」と喜びを語りました。各部の受賞者（敬称略）は次の通り。

- ◆育成の部▽最優秀賞Ⅱ上田久男・第165たいこ▽優秀賞Ⅱ筒井博和・第74まさくに▽優良賞Ⅱ式地優貴・ひでひさか
- ◆未經産の部▽最優秀賞Ⅱ秋山陽彦・第29たつみ▽優秀賞Ⅱ穂れいほく未来・第130たけ▽優良賞Ⅱ石原澄恵・第98さかえ
- ◆経産の部▽最優秀賞Ⅱ原猛幸・第18たつみ▽優秀賞Ⅱ筒井博和・第65けんいち▽優良賞Ⅱ近藤義孝・第8たつみ
- ◆母系牛群の部Ⅱ(株)れいほく未来・第6せいしよ、第11せいしよ▽優秀賞Ⅱ近藤義孝・第8たつみ、第24たつみ▽優良賞Ⅱ川井規規・第14ひでみ、第32ひでみ
- ◆青木賞Ⅱ澤田直人・第152たいこ
- ◆第50回記念特別賞Ⅱ三谷美信・229たかつかさ

2 南国市地域 通常総会を開催しました



盛大に開かれた令和6園芸年度通常総会

南国市園芸部は11月21日、令和6園芸年通常総会を開き、部員やJA役職員38人が出席しました。事業報告や収支決算書の承認など全6議案を決議の結果、すべて可決・承認されました。本年度は2年に一度の役員改選があり、部長に澤本誠さん、副部長に北原章吾さん、永森照幸さんが選任されました。澤本部長は「南国市園芸部を前進させるために全力で取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。同月29日には、園芸女性部の通常総会が開かれ、部員ら48人が出席しました。任期満了に伴う役員改選では、部長に関田美代子さん、副部長に松木育美さん、甲藤麻衣さんが選任。総会では、全4議案を協議し、すべて原案通り可決・承認されました。総会後には、(株)四万十ドラマの代表取締役会長の畦地履正さんが「四万十のあしもとにあるもの」と題し講演。懇親会では、園芸女性部手作りの料理が並び、参加者はおいしい料理に舌鼓を打ちました。

3 れいほく地域 搾汁用ユズ 受け込みスタート



受け込み作業を行う職員

JA高知県れいほく柚子加工場で搾汁用のユズの受け込みが10月24日から始まりました。収穫ピーク期には、日量約30t、多い日で40tのユズが持ち込まれました。持ち込まれたユズ玉は腐敗やキズの有無を目視で確認し、搾汁機で果汁や果皮に分別。果汁と果皮の原料販売の他、ジュースやボン酢などに加工したものを海外や都心部を中心に全国各地で販売しています。同加工場の松繁淳二課長は「海外の消費者からも好評のユズ果汁をさらに多くの方に味わってもらえるように、今後もユズの魅力を国内外に発信していきたい」と話しました。

4 南国市地域 JA高知県支所だより コンクールで最優秀賞！



島田組合長から賞状を受け取る恒石支所長

JA高知県が取り組む支所だよりコンクールの審査が行われ、令和6年度の最優秀賞に旧久礼田支所が輝きました。レイアウトの秀逸さなどが高く評価され、3年連続の入賞を果たしました。11月21日になんごく北支所で表彰式が行われ、島田組合長から恒石支所長に表彰状と副賞が贈られました。島田組合長は「今後も顔と顔の見える関係づくりを目指した支所だよりの作成に取り組んでほしい」と激励しました。同コンクールは、組合員とのつながり強化などを目的に令和4年から実施しており、今年度は5地区から42部の応募がありました。

5 れいほく地域 ミカン狩りで交流



ミカン狩りを楽しむ参加者

JA高知県れいほく地区の助け合い組織「相川あおぞら会」は11月13日、第70回相川地区ミニデイを開きました。会員ら34人が参加し、香南市香我美町にある土佐の高知のくだもの畑でミカン狩りを楽しみました。同組織は、安心して暮らせる地域社会づくりを目指し、平成13年に発足。年1から3回の活動を通して会員相互の親睦を深めています。参加者は友人と広大なミカン畑でもぎたてのミカンを収穫し交流。同組織の川井由紀代表は「年1回のミカン狩りを心待ちにしている人も多く、今後も楽しみながら活動していきたい」と話しました。

6 南国市地域 手作り弁当で 大学生を支援！



手作り弁当を手渡す部員

JA高知県かきぐるま市加工部会は11月と12月の4日間、南国市にキャンパスを構える高知大学の農林海洋科学部と医学部の学生に手作り弁当を配布しました。物価高騰の煽りを受けている学生を支援するとともに、地産地消への関心を高めてもらうことが目的。市からの依頼を受け、4日間で800食の弁当を無償で提供しました。食材には同市で生産された四方竹やパプリカ、シシトウなどを使用し、四方竹入りのちらし寿司やおかずなどを調理。メンバーは「一生懸命作ったので食べてね」などと声を掛けながら、学生一人一人に手渡しました。

南国市地域より

■ 南国営農経済センター 営農指導課 088-863-2415

ニラのは種・定植準備



土長営農経済センター
南国営農指導課
近澤 慶哉

◆ は種準備

土づくり

土づくりとして、pH6～6.5を目標に苦土石灰、有機物をは種の1カ月前までに施用します。苗床の元肥量については窒素成分で1アールあたり1.5～2kg程度の肥料を施用しましょう。

は種作業

は種は露地栽培で12～1月に行い、定植を4月頃に行います。施設栽培では2～3月頃には種して、6～7月頃に定植します。

は種後は土が隠れる程度に覆土するようにしましょう。また、地温確保、乾燥防止のため被覆しましょう。（発芽適温（地温）は16～20℃）被覆資材は発芽した後に除去してください。

育苗管理

被覆資材除去後は乾燥させないように小まめにかん水し、ハウス内温度が高くなる場合は換気を行い、軟弱徒長にならないように注意してください。育苗期後半に葉が伸び、倒伏するようであれば15cm程度に刈り揃えるようにしてください。

◆ 定植準備

土づくり

土づくりとして、有機物（ケイントップ等）を10アール当たり800kg程度と苦土石灰を定植予定の1カ月前までに施用します。有機物を一度に多量施用すると白絹病の発生などを助長するので注意します。

なお、苦土石灰については土壌分析の診断結果に基づき施用量を決定し、pHが6.0～6.5になるよう矯正します。pHが7.0以上（アルカリ性）、5.0以下（強酸性）では生育阻害や生理障害が起こりやすくなってしまいます。

元肥

定植の10日前には施用・耕運します。

pH矯正における苦土石灰施用の目安/10アール当たり

pH	壤土
5.0未満	300～200kg
5.0～5.9	200～100kg
6.0～6.5	80kg

畝立て

畝作り前に土壌が乾燥していれば、水をかけて適湿で耕運・畝立てを行う。

湿害を受けやすいため、畝は高く作り排水対策をしっかりとします。また、畝の表面が平らでない場合、かん水時のむらなどにより、生育むらができるのでできるだけ平らにします。

マルチング

マルチの穴が畝の肩から落ちないよう余裕を持った畝を作り、白黒マルチを被覆します。白黒マルチは地温抑制、雑草抑制効果があるので、定植後も張りっぱなしとします。

定植

苗の植付け本数としては、3本程度に分けつした苗を品種特性に応じて、1～3本を1穴へ植付けるようにしてください。植付け後は活着を促すために十分にかん水し、活着するまでは乾燥に注意してください。

10aあたり設計施用（例）

肥料名	施用量 (kg)	成分量		
		N	P	K
アヅミン苦土石灰		pHに合わせて調整		
粒状ゼオライト	200			
マルチサポート1号	60			
エコスマイル (14-5-6)	260	36.4	13.0	15.6



れいほく地域より

■ 土長営農経済センター れいほく営農販売課 0887-82-2803

土壌分析を行い、 適正な土づくりをしましょう

元肥には、定植から生育初期の樹づくりに必要な肥料分を補う大切な役割があります。施肥量の不足や過剰は、活着不良や草勢の低下、病害の発生につながります。作付け前には土壌分析を行い、分析結果を基にした適正な施肥を心掛けましょう。

【土壌分析で分かること】

土壌の酸性・アルカリ性を示す「pH」、土壌の塩類濃度を示す「EC」を主に測定し、その他に窒素、リン酸、苦土、カリ等が測定できます。

pHは1～14の値で示され、7程度を中性、7から数値が小さくなるほど酸性、7より大きくなるほどアルカリ性となります。土壌の一般的な適正値は6.5程度です。

ECは一般的に0.5が目安となり、数値が高くなると作物の根に障害が発生し、水分を吸収しづらくなります。

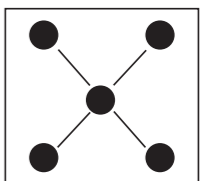
★れいほく地域では、ECの高いほ場が多く見受けられます。過剰に投入された肥料は、根傷みや病害の発生起因となります。

土壌分析の結果、ECが高いと判断された場合は、元肥を控え、生育状況を見ながら追肥で調整しましょう。また、余分な肥料を投入しない事で、高騰する肥料価格の対策につながります。なお、ECが高い場合は硝酸態窒素の量も確認しましょう。

【土壌検体の採取方法】

- ・1カ所から採取するのではなく、右のほ場図にある通り、ほ場図●の場所から採取するとほ場全体の正確な分析ができます。（1カ所50～60g程度）
- ・表層の土を2～3cm程払い除け、根が張っている部分（10～15cm付近）を主に採ります。
- ・土を新聞紙等の上で広げ、風通しの良い日陰に放置し、よく乾燥させてください。（土に水分がなくなるまで）乾燥が終わり次第、ビニール袋等に入れ、ほ場名を袋に書いてれいほく営農経済センター営農販売課へ提出をお願いします。

ほ場図



GAP 掲示板 vol.52 れいほく地域

作終了後の片付けについて

作中に使用した資材（支柱、かん水チューブ、台車、コンテナ等）は病原菌が付着している可能性があるため、洗浄し来作まで衛生的に保管しましょう。マルチ等の交換可能なものは毎年更新をオススメします。

機械類は保護シートをかけ、埃や水滴などがかからないように保管しましょう。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

いろいろなイベントも増えてきて出掛けるのが楽しみになった今日この頃です。

(本山出張所・54歳)

▼県内のいたるところでさまざまな催し物が開かれ、イベント三昧でしたね。11月には、本山町の産業文化祭にも参加させていただきました。高知のグルメはもちろん、ステージショーや出店者のみなさんの活気にこちらも楽しい気分じゃ！

ユズの季節になりました。先日、北川村のユズを使ったカヌレを北川村の小学生が販売していました。買って食べてみると、ユズ香のいいカヌレでした。

(なんごく北支所・62歳)

▼ユズカヌレおいしそう〜！高知市内にあるカヌレ店と北川村小学校のコラボだったそうですね。爽やかな香りが海外でも人気なユズ。れいほくの柚子加工場でも10月下旬から搾汁用もユズの受け込みが始まり、ユズのいい香りに包まれていました！

毎号楽しく拝見しています。農業をしている身として参考させていただいています。皆さんの挑戦、活動などに刺激されています。イベントも機会があれば参加させていただきまます。いつも情報をありがとうございます。

(れいほく支所・41歳)

▼毎号ありがとうございます。本年も引き続き、各地区の取り組みなどを発信していきます！さて、今月号の特集「高校生の挑戦！」はいかがだったでしょうか？今年も「こうべり」をよろしく願っています。

「うちの台所」の「コンニャクの唐揚げを作ってみました」です。

(岡豊出張所・69歳)

コンニャクを揚げる発想に驚きました！下味をつけて味もしみていて、おいしそうですね。食感も面白そうですね、なんといってもヘルシーなのがGOOD！

関西圏初となる県のアンテナショップとささきが好評だと高知新聞に載っていました。田舎のせいたくさが発信されて売上アップにつながりますように！

(十市出張所・71歳)

県内の加工品など約900品を取り揃えており、まさに「スーパーカー川極上の田舎」を感じられますね。さまざまな情報を発信し、県産品の認知度向上、販路拡大につながることに期待しています！

南国市の児童がダイコンの種まきを体験した記事を見て、食育にもつながるいい体験だなと思いました。

(大川出張所・39歳)

(株)南国スタイルと地元小学生のダイコン種まきは今年で11年目の取り組みで、12月にはダイコンの収穫体験も行われました！農業体験を通して食に関する知識や、食べ物を大事にする気持ちを持つてくれると嬉しく思います。JA高知県では、今後も「食」が持つ多様な役割の大切さを伝える食農教育活動に取り組んでいきます。

家庭菜園で野菜を育てているので、せんだの情報がとても参考になりました。

(なんごく南支所・77歳)

12月号の「えいのう」で掲載されていたせんだの記事は毎年多くの方から好評をいただいております。せんだには、木の生長を促す効果もあるそうです。ポイントや注意点を教えて試してみてください。

定年後、親の後を継いで百姓をしている者にとって「えいのう」は頼りがい大です。

(おおとよ支所・88歳)

嬉しいお言葉ありがとうございます。毎月作成している指導員の励みになります。昼間もグツと気温が下がりが、寒さが身にしみるようになりました。体調に気をつけて農作業に励んでください。

南国

育苗センターアルバイト募集

- 内容** 水稻苗の出荷、播種作業など
- 作業期間** 2月から3月下旬頃まで
- 募集人数** 若干名 ※勤務時間、時給などは下記連絡先へお問い合わせください。
- お問い合わせ先** (株)南国スタイル (担当：後藤) (TEL：088-855-3179)

家の光協会 新刊図書のご案内

ご注文はお近くの支所または、土長地区本部企画組合員課までお願いいたします。
(TEL：088-863-2411)



●『サブレ、ビスケット、クッキー』
青山翠 著
定価：1,870円 (税込)

本場で愛されるサブレ、ビスケット、クッキーを幅広く紹介。天板1枚で焼ける少量レシピなので作りやすく、混ぜ方、伸ばし方などの基本も丁寧に解説！



●『薬膳おむすび』
植木もも子 著
定価：1,650円 (税込)

季節や体調に合わせて具材を選んで組み合わせるだけ。ごはんには混ぜるものから炊き込みごはん、作りおきできるふりかけまで100種類紹介。白米だけでなく玄米や胚芽米、雑穀米など、パリエーションも楽しい。